

2021年度事業計画

自 2021年 4月 1日

至 2022年 3月31日

『 Take over UBA 』

I. 基本方針

我々全国中小企業青年中央会（以下 全青中）は、全国の若手経営者・後継者が結集し、同業・異業の垣根を越えて組合青年部の代表として全国の仲間と交流し、研鑽を重ねていくことで自社や所属組合、ひいては地域経済全体を活性化することを目的として常に行動していくこととする。

しかし、現状においては、新型コロナウイルス感染拡大の収束の見通しが立たない中で、経済活動が大きく制限されたことにより、未曾有の経営危機に直面し、事業者を取り巻く経営環境は依然として厳しい状況にある。

こうした中でこそ、全青中の仲間がお互いに励まし合いながら困難を乗り越えていく必要がある。そこで、昨年度からのテーマである『Take over UBA』を掲げ、一定の制約の下でも積極的に活動を実施することで、都道府県青年中央会・連絡協議会とのさらなる連携強化を図りつつ、組合青年部を発展させ新しい世代に必ず繋いでいくという信念のもと行動し、研鑽し、業界全体の発展に尽力することとする。

II. 実施事業

1. UBAサミットの開催

都道府県青年中央会・協議会等の代表者が一堂に会し、情報共有・情報交換を行うことにより、組織の強化を図るとともに、都道府県青年中央会・協議会等に所属する各企業の活性化を図っていく。

2. 全国中小企業団体中央会との協力・更なる青年部活動支援のための連携強化

本年度は11月に大分県大分市において組合青年部全国講習会（主催：全国中小企業団体中央会）開催が予定されており、この企画・運営等に積極的に協力していく。開催日については新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえフレキシブルに検討し、この企画・運営等に積極的に協力していく。

また、青年部活動への支援拡大を図るために全国中小企業団体中央会の事業である『組合青年部活性化研究会』の参加を通じて都道府県青年中央会・協議会等との連携を更に強化していく。

3. 組合青年部設立促進への協力と都道府県青年中央会・協議会等への加入促進活動への展開

『組合青年部組織・運営指針』等を活用し、全国中小企業団体中央会並びにブロック青年中央会及び都道府県青年中央会・協議会等と連携することで、青年部未組織組合に対し青年部の設立を呼び掛けるとともに、未加入の組合青年部に対し加入の呼び掛けを行っていく。

4. 被災地域の組合青年部関係者に対する支援

各被災地域の現状などを全国に発信できる場（UBAニュース）を設けることによって被災地域への継続的な支援を行っていく。

5. 青年友好4団体トップ会議の実施

全国商工会青年部連合会、公益社団法人日本青年会議所、日本商工会議所青年部と本会が集まる『全国青年友好4団体トップ会議』をはじめとする各種会合に出席し、本会の活動をPRするとともに経済人としての連携促進の機会と創造を図っていく。

6. 組合青年部活性化のための情報提供並びに、協力・連絡・組織体制の確立

都道府県青年中央会・協議会等、組合青年部に関する情報提供を行うため、情報発信等の充実を図り、会員間の情報交流の活発化を図っていく。

7. UBAの活用促進

UBAのロゴと呼称の活用を呼びかけ会員や友好団体等への周知を促して本会への理解を深めるとともに、全青中活動の更なる活性化を図ることを目的としたUBA活用促進事業として、UBAバッジやUBAネームプレートの会員への販売を励行する。

8. 災害時連絡協議会の連携促進

近年増加傾向にある自然災害への対応の取組と業種業界を越えて広げていくため、全国10青年友好団体と自民党本部青年局により設立された災害時連絡協議会への参画を通じ、平時の備えや発災時に有機的な連携を図っていくための情報共有を行う。

【参画青年友好団体】

全国管工事業協同組合連合会青年部協議会・全国商工会青年部連合会・
全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合青年部・全日本トラック協会青年部会・
倉庫業青年経営者協議会・日本左官業組合連合会青年部・日本商工会議所青年部
日本青年会議所・冷蔵倉庫業青年経営者協議会・全国中小企業青年中央会